

第199回海洋フォーラム

最前線から見る日露関係 — 未来を見据えて —

2025年

2/15

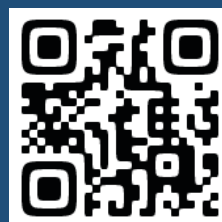
(土曜日)

14:00~16:00

我が国とロシアは隣国であるがゆえに、時に接近し、時に敵対するなど、複雑な歴史を共有してきました。しかしながら、日露和親条約（1853年）の締結からウクライナ戦争の勃発で米ソ冷戦後、最悪の日露関係と言われる今日に至るまで、お互いを決して無視することの出来ない重要な隣国と位置付けていることもまた事実です。米トランプ次期政権の誕生で国際情勢の更なる激変が予想される中、今こそ将来を見据え、新たな日露関係の構築に向けた地に足を付けた議論が不可欠です。

そこで、今回の海洋フォーラムでは、日露関係の最前線である根室市を会場として、日露関係に精通した有識者や実務家をお招きし、これまでの日露関係を振り返るとともに、地元根室市の取り組みや抱える課題を踏まえ、今後の展望を議論します。

参加費無料
(要事前申込)



プログラム

【開会挨拶】

角南 篤 笹川平和財団理事長
石垣 雅敏 根室市長

【基調講演】

伊東 良孝 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策 消費者及び
食品安全 地方創生 アイヌ施策）
新しい地方経済・生活環境創生担当
国際博覧会担当（ビデオメッセージ）

畔蒜 泰助 笹川平和財団安全保障研究グループ上席研究員

【パネルディスカッション】

パネリスト

鈴木 貴子 衆議院議員（自由民主党政務調査会水産部会長）

高屋 繁樹 笹川平和財団海洋政策研究所特任部長

原田 大輔 エネルギー・金属鉱物資源機構エネルギー事業本部
企画調整部企画課長（併）調査部担当調査役

コメンテーター

畔蒜 泰助 笹川平和財団安全保障研究グループ上席研究員

モデレーター

角南 篤 笹川平和財団理事長

会場

根室市総合文化会館

徒歩：JRねむろ駅から約15分
車・タクシー：JRねむろ駅から約5分
バス：JRねむろ駅前バスターミナル
から約15分



Googleマップ表示

これまでの海洋フォーラム等
イベント情報はこちら▶

※この事業はポートレースの交付金による
日本財団の助成を受けて実施します



お問い合わせ先

笹川平和財団海洋政策研究所

Tel:03-5157-5210 Fax:03-5157-5230

E-mail: kaiyoforum@spf.or.jp

登壇者のご紹介(ご登壇順)



角南 篤 (笹川平和財団理事長)

1965年生まれ。1988年ジョージタウン大学卒業、1992年コロンビア大学国際関係・行政大学院Reader、1997年英サセックス大学科学政策研究所TAGSフェロー、2001年コロンビア大学政治学博士号(Ph.D.)取得、2003年政策研究大学院大学助教授、2014年政策研究大学院大学教授、2016年政策研究大学院大学副学長、2017年笹川平和財団常務理事兼海洋政策研究所長、2019年政策研究大学院大学長特別補佐・客員教授などを経て、2020年から現職。昭和音楽大学長／昭和音楽大学短期大学部学長、早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構客員教授、アジア太平洋財団特別フェローなども務める。

石垣 雅敏 (根室市長)

1951年北海道根室市生まれ。工学院大学専修学校卒業。1976年根室市採用、1990年根室市企画振興部企画課広報係長、1991年根室市総務部総務課秘書係長、1998年根室市水産経済部商工観光課長、2001年根室市総務部北方領土対策室長、2002年根室市水産経済部水産課長、2003年根室市企画振興部企画政策室長、2004年根室市水産経済部長、2005年根室市北方領土担当参事、2006年根室市総務部長、2006年根室市助役、2007年根室市副市長などを経て、2018年から根室市長(現在2期目)。



伊東 良孝 (内閣府特命担当大臣)

1948年北海道旭川市生まれ。1962年父の転勤で釧路へ。1974年北海道教育大学釧路校卒。1985年釧路市議会議員初当選(3期)。1995年北海道議会議員初当選(2期)。2002年釧路市長初当選(2期)。2009年衆院選に北海道第7区から出馬し初当選(現在6期目)。2016年農林水産副大臣、2017年衆議院農林水産委員長、2018年自由民主党水産部会長、2019年9月農林水産副大臣(再任)、2020年衆議院地方創生に関する特別委員長などを経て、2024年10月に発足した石破茂内閣で内閣府特命担当大臣(地方創生・沖縄北方対策担当)に就任。

畔蒜 泰助 (笹川平和財団安全保障研究グループ上席研究員)

1969年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、モスクワ国立国際関係大学修士課程修了。東京財団研究員、国際協力銀行モスクワ事務所上席駐在員を経て現職。専門はユーラシア地政学、ロシア外交安全保障政策、日露関係。露ヴァルダイ会議の常連で昨年11月にもプーチン大統領と直接質疑応答を行っている。



鈴木 貴子 (衆議院議員)

1986年北海道帯広市生まれ。カナダ・ブリティッシュコロンビア州ロックリッジ高校卒業、カナダ・オンタリオ州トレント大学(専攻:国際政治経済学、社会学)卒業。2009年NHK入局、2013年衆議院議員初当選、2018年防衛大臣政務官(第4次安倍改造内閣)、2019年自由民主党副幹事長、2021年外務副大臣(岸田内閣)、2021年外務副大臣(第2次岸田内閣)、2022年自由民主党副幹事長、2024年自由民主党青年局長、2024年自由民主党水産部会長、2024年自由民主党選挙対策委員会副委員長などの要職を歴任。

高屋 繁樹 (笹川平和財団海洋政策研究所特任部長)

鹿児島大学大学院(海洋物理学)、横浜国立大学大学院(国際経済法)修士課程修了。1991年農林水産省入省。水産庁資源管理部国際課北方第一係長、同課長補佐、同捕鯨室長、同管理調整課沿岸遊漁室長、同漁業取締課長、同漁政部水産経営課長を経て、昨年7月より笹川平和財団へ。漁業協力、捕鯨、漁業監督、漁業関係法令、水産金融が専門。日ロ関係では交渉や国内調整の他、ロシア船への許可業務や指導監督を担当。



**原田 大輔 (エネルギー・金属鉱物資源機構エネルギー事業本部
企画調整部企画課長(併) 調査部担当調査役)**

1973年東京生まれ。東京外国語大学卒業(1994-95年インド・アラーハーバード大学留学)。1997年石油公団(現エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC))入団。経済産業省資源エネルギー庁長官官房国際課への出向を経て、2006年からロシア及び旧ソ連圏での石油開発プロジェクト立ち上げに従事。2012年グループキン記念ロシア国立石油ガス大学経済経営学修士課程修了。東シベリア・北極圏での石油・ガス開発プロジェクト立ち上げ、日露協力案件の醸成及び情報分析に従事。現在、JOGMEC企画調整部企画課長として経済産業省との総合調整に携わると共に、調査部で世界の石油・天然ガス上流情勢の調査、特にロシア担当として同国の上流開発プロジェクト、対露制裁分析、北極域の資源開発に関する情報の収集・分析、政策当局及び日本企業に資する情報を発信。